

ルクセンブルク経済・金融情勢（2013年10月前半）

1. 経済

- 賃金物価スライド制の適用により、10月1日より給与、年金、最低賃金保障等が2.5%上昇。非熟練労働者の月額最低賃金は1,921.03ユーロ、熟練労働者は2,305.23ユーロ。（9月13日付社会保障省発表）
- 会計事務所であるDeloitteルクセンブルク社、2013年（5月末締め）の収益は213.1百万ユーロ（前年比19%増）で、3年連続の成長。また、2013年には同社雇用数の20%に当たる230名が新たに雇用。（2日付ル・コティディアン紙）
- 2013年第1四半期の経常収支は、957百万ユーロの黒字で、前年同期比323百万ユーロの増加。商品の貿易赤字は同95百万ユーロ増加しているが、サービス輸出の増加、中でも金融サービス輸出の増加（同428百万ユーロ増加）により結果として黒字化。（3日付中央銀行プレスリリース）
- P&Tルクセンブルクグループ（郵便・通信・銀行事業を行う当国国営企業）、9月30日より名称をPost Luxembourgに変更。（3日付ル・ジュディ紙）
- 2013年第2四半期のGDP成長率（速報値）は、前年同四半期比+2.4%、前四半期比+1.6%。他方、2012年のGDP成長率は+0.3%から▲0.2%へと下方修正。（8日付統計局プレスリリース）
- 欧州委員会によるEU世論調査であるユーロバロメーターによると、ルクセンブルク市居住者の95%が同市における暮らしに満足しているとの結果で、右は調査対象の79市のうち5番目に高い数値。（9日付ヴォルト紙電子版）
- 9月のインフレ率は年率換算1.5%（8月は同1.8%）。（9日付統計局プレスリリース）
- 当国SES社、欧州宇宙機関（European Space Agency）及び衛星関連企業である独OHB社と電力で稼働する衛星開発のための100百万ユーロ規模の共同プロジェクトに15日に署名。（15日付ヴォルト紙電子版）

2. 金融

- 英シンクタンクZ/Yenグループによる世界金融センター指数（毎年3月及び9月に発表）において、ルクセンブルクは世界80の金融センター中、13位（前は18位）。（4日付ルクセンブルク・フォー・ファイナンス）
- 金融監督委員会（CSSF）、スイス連邦監査監督機構（FAOA：Federal Audit Oversight Authority）との監査監督協力に係る覚書に署名。（9日付CSSFコミュニケ）

3. 政府

- シュナイダー経産相、既存の5つの産業クラスター（注：特定分野における関連企業や大学等が地理的に集中し、競争しつつ同時に協力する地域。ルクセンブルクには現在、生体臨床医学、環境技術、ICT、物質科学及び宇宙工学の産業クラスターが存在する）に加え、自動車産業関連の産業クラスター計画を発足させることを3日に発表。（3日付経産省コミュニケ）
- フリーデン通信メディア相、8日にLuxConnect社（100%政府出資）の4つ目となるデータセンターの着工式に出席。同施設は当国南部のベッテンブルク市に設置され、既存の3つの同社のデータセンター同様、データセンターの基準を規定するティア（TIER）において最高水準であるティア4を満たす施設となる予定。（8日付政府公報）
- フリーデン財務相、9日から11日にかけてワシントンで開催の世銀・IMF年次総会に出席。同財務相は今年、両会合にて議長を務めている。（8日付財務省コミュニケ）
- フリーデン財務相、9日にシンガポールとの二重課税防止条約に署名。（10日付財務省コミュニケ）
- ヘット＝ガーシュ中産階級相、2008年から2012年にかけての中小企業支援実績を9日に発表。同期間に政府より中小企業に対して約60百万ユーロの補助金が承認されており、企業の投資活動を促すという目的を達成しているとした。（10日付ル・コティディアン紙）
- シュナイダー経産相、10日にバイオテクノロジー関連会社であるLuxFold社の開業式典に出席。（10日付経産省コミュニケ）
- フリーデン財務相、ルクセンブルクにて開催されたEU財務相理事会に際し、バルニエ欧州委員（域内市場・サービス担当）と会談。（15日付財務省コミュニケ）
- シュナイダー経産相、欧州委員会がエネルギーインフラ分野における共通利益プロジェクト（Project of Common Interest: PCI）の枠組みで248のプロジェクトを承認したことを歓迎する旨を発表。ルクセンブルク関連では、白との送電線プロジェクト、仏及び白との天然ガスの接続プロジェクトの計3件が承認。（15日付経産省コミュニケ）

※ 当国政府機関の公表資料や各種報道等の公開情報を取りまとめたもの。